

なまはげ館：解説 なまはげ語源

なまはげの語源となったナモミという言葉は、男鹿地方の方言で、手や足に発生する低温火傷痕である「温熱性紅斑」を意味します。ほとんどの時間を屋内の囲炉裏にあたって過ごした怠け者に、この水ぶくれが発生します。一方で、ナモミハギという言葉は、怠け癖がバレてしまうこの火傷痕を取り除く（より文字通り表現するなら「剥ぎ取る」）ことを意味する言葉でした。ナモミハギがなまはげになり、この言葉は、神の使いそのものと、少なくとも19世紀の初頭から男鹿で怠け者をしつけるために毎年行われている儀式の両方を指すようになりました。